

## 総工 GP ニュース 25号 (最終号)

### 1. 電子情報コース4年次工場見学報告 (重井准教授, 青木准教授)

12月13日(火)の午後、電気電子情報実験の一環として、京都市内にある日新電機株式会社を見学しました。見学先では、会社説明と施設見学、OB社員との懇談が用意されており、会社説明では重電と家電に分類し、得意とされている分野をご説明いただきました。その後、3班に分かれて施設見学をしました。施設見学では、ものづくりの生産工程をご説明いただくとともに、実物を間近で見るコースを用意していただきました。



日新電機本社構内 22kV 受電所(写真提供:日新電機)

OB社員との懇談では、就職を視野に入れた質疑が活発に行われました。学生らは、今回の会社見学を通して、コミュニケーション能力の重要性や授業科目との関連性、安全管理が徹底されている事などを感じており、有意義なひとときを過ごせたと思います。最後になりますが、この会社見学実施にあたり、関係教職員の方々には、9月の計画立案から長期にわたって大変お世話になりました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

### 2. 物質化学コース4年次工場見学報告 (西岡准教授)

今年度の物質化学コース4年次工場見学を12月20日(火)の物質化学基礎実験の時間を利用して実施しました。行き先は、ユニチカ株式会社の宇治事業所で、今回は食品包装用のナイロンフィルムを製造している工場を見学させていただきました。ユニチカ株式会社は、古くは日本を代表する繊維会社として知られていましたが、現在では高分子素材や機能材料を中核とした素材型メーカーとして発展しており、本校からも多数の卒業生が就職し活躍しています。

当日は、午前の授業終了後、昼食を取る間もなく集合し、学生41名と引率教員3名の計44名でバスにてユニチカ宇治事業所に向け出発しました。交通渋滞もなく予定より多少早く現地に到着しました。工場内の会議室にてビデオによりフィルム事業部の説明を受けたあと3グループに分かれて見学しました。見学先が食品包装用フィルムの製造工程であることから工場内への入室の際には埃の持ち込みや虫の進入を防止するため、ローラーぶらしによる埃取りやエアシャワーを通過する必要がありました。工場内は幅数メートルのフィルムを連続的に巻き取りながら生産する機械が稼働していましたが、運転管理に携わっている社員の人数は極めて少数で、種々の規格のフィルムを生産しているため自動化が困難な梱包作業に最も人手がかかっているとのことでした。また見学途中にフィルム切断のイレギュラーが発生しましたが、担当作業員の方々が適切な対応をされて

おり、工場内でのトラブルシューティングの現場を実際に見る機会に恵まれました。

約1時間弱の見学後は再び会議室に戻り、工場管理のスタッフを交えた質疑応答では学生からも活発な質問が出るなど、良い雰囲気だったと思います。最後に人事担当の方より会社概要と採用に関する説明を受け、ほぼスケジュール通りに無事見学を終了することができました。夏期インターンシップでは半数弱の学生が企業ではなく大学に行ったため、工場見学が初めてという学生も多く、進路を考える上で良い経験となったのではないかと考えています。(引率:西岡, 東田, 伊藤)



図 学生に配布された会社紹介およびユニチカで活躍する高専卒業生を紹介したパンフレット



### 3. 第7回 サイエンスフェスティバルにて卒業製作の展示（土井准教授）

1月21日（土）、豊中市教育センター（阪急蛍池駅西側 ルシオーレビル5階・6階）において、サイエンスフェスティバルが開催されました。このフェスティバルは、豊中市内の小中学校や豊中市近隣の高校、大学のサイエンス系クラブ、サークル等の交流を図り、豊中市地域の子供達の科学教育の活性化を推進するために毎年開催されています。今年も、出展者を含めて650人の来場者があり、そのなかには、ノーベル物理学賞を受賞された南部陽一郎先生もおられました。

本校のブースには、NHKロボコン全国大会に出場したろぼっと倶楽部のマシン「すび→どらんにんぐ」とともに、5年生が製作した卒業製作の「PJ4：バイオ機関車」と「P9：圧電シューズ」を展示し、平成23年度卒業製作の成果をPRしました。地域の小中学生・保護者が多数集まり、持参した本校学校案内と教育GPパンフレット約70部を配布することができました。

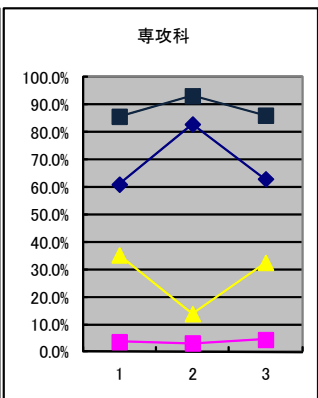
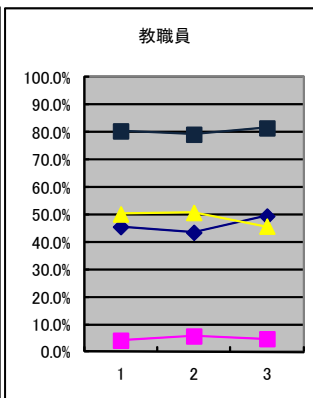
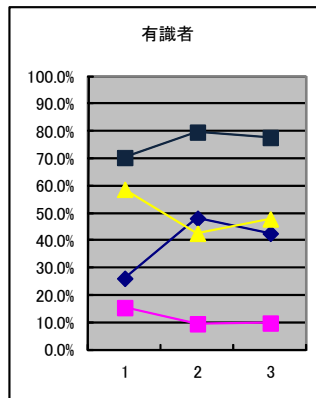


### 4. 3年間の卒業製作展示会に対する評価の推移

教育GPの3年間の卒業製作展示会に対する評価をまとめました。青色がA評価、黄色がB評価、ピンクがC評価としています。水色は、これら3つの評価に対し、スコアを（A評価×3+B評価×2+C評価）／3と定義して算出しました。外部評価については、2年目に改善し、それを維持しています。教職員と4年生の評価は3年目に増加しています。5年生と一般来場者については、減少傾向がみられますので、今後は製作物のグレードアップがさらなる課題となります。みなさんのご意見をお聞かせ下さい。



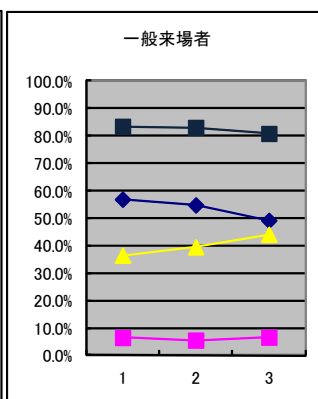
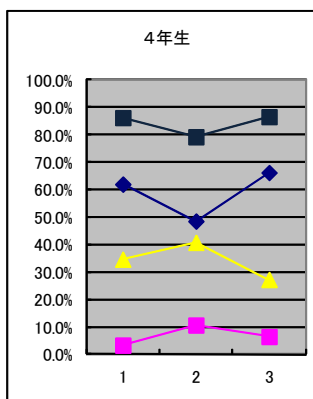
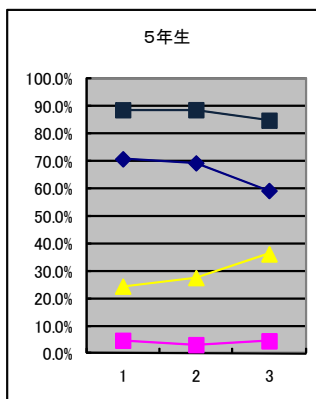
有識者	2009	2010	2011
A	26.1%	48.1%	42.5%
B	58.6%	42.5%	47.8%
C	15.4%	9.4%	9.7%
スコア	0.70	0.80	0.78
有効票数	100.0%	100.0%	100.0%



教職員	2009	2010	2011
A	45.6%	43.5%	49.5%
B	50.2%	50.7%	45.8%
C	4.2%	5.8%	4.8%
スコア	0.80	0.79	0.82
有効票数	100.0%	100.0%	100.0%

専攻科	2009	2010	2011
A	61.1%	83.0%	63.0%
B	35.3%	13.8%	32.5%
C	3.7%	3.2%	4.4%
スコア	0.86	0.93	0.86
有効票数	100.0%	100.0%	100.0%

5年生	2009	2010	2011
A	70.8%	69.3%	59.3%
B	24.4%	27.5%	36.2%
C	4.7%	3.1%	4.5%
スコア	0.89	0.89	0.85
有効票数	100.0%	100.0%	100.0%



4年生	2009	2010	2011
A	62.0%	48.5%	66.2%
B	34.6%	40.8%	27.3%
C	3.4%	10.7%	6.5%
スコア	0.86	0.79	0.87
有効票数	100.0%	100.0%	100.0%

一般	2009	2010	2011
A	56.9%	54.9%	49.2%
B	36.5%	39.6%	44.1%
C	6.5%	5.6%	6.6%
スコア	0.83	0.83	0.81
有効票数	100.0%	100.0%	100.0%

■ 本号にて総工GPニュース最終号です。様々な形でのご支援、ご鞭撻ありがとうございました。